

# ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型)

<5637>

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米短ハイ有1

第10期 2023年7月5日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の短期ハイ・イールド社債等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 第10期末 | 基準価額  | 8,377円 |
|       | 純資産総額 | 71百万円  |
| 第10期  | 騰落率   | 0.8%   |
|       | 分配金   | 0円     |

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

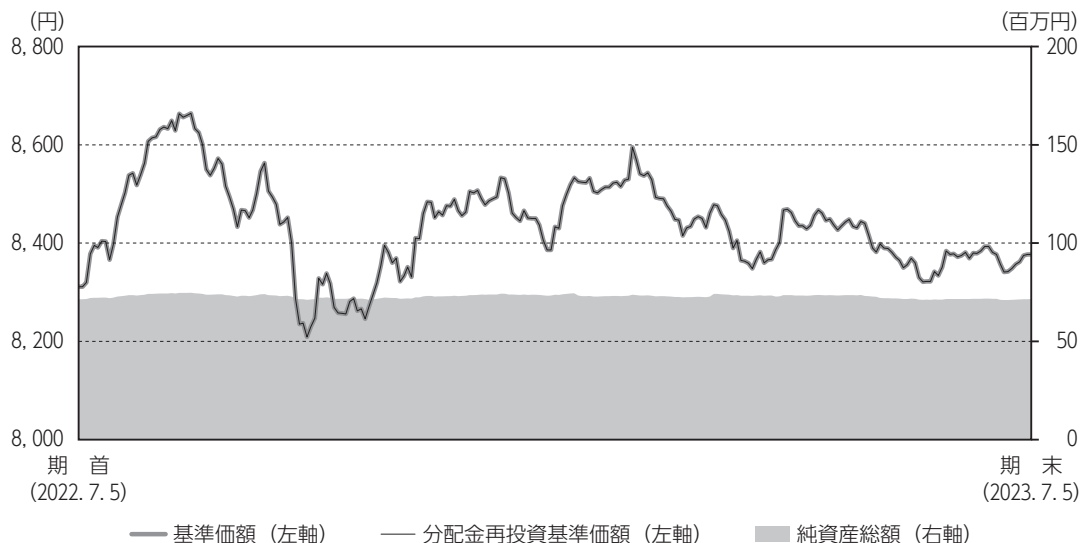
 見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。  
◇TKU0563720230705◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法  
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期 首：8,311円

期 末：8,377円（分配金 0 円）

騰落率：0.8%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」を通じて、米国の短期ハイ・イールド社債等に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行った結果、投資している短期ハイ・イールド社債が上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／プリンシパル・US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

## 1万口当りの費用の明細

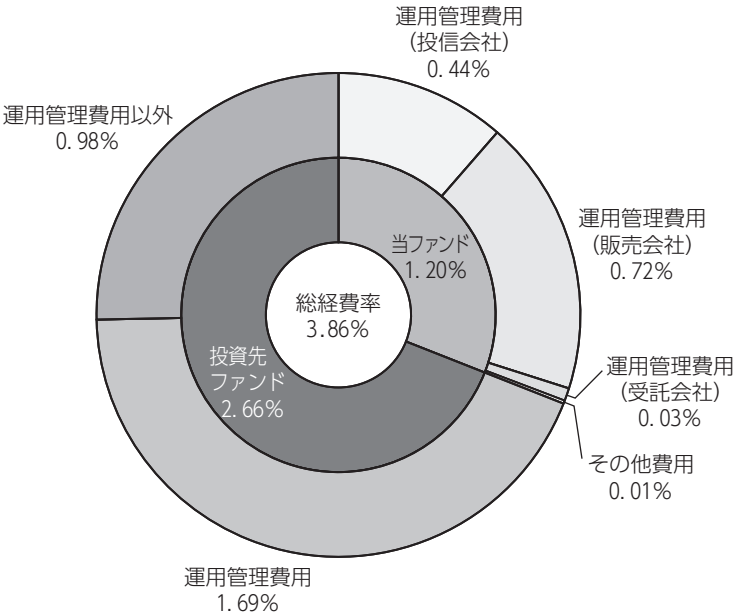
| 項 目       | 当 期<br>(2022. 7. 6～2023. 7. 5) |          | 項 目 の 概 要                                                               |
|-----------|--------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------|
|           | 金 額                            | 比 率      |                                                                         |
| 信 託 報 酬   | 100円                           | 1. 188%  | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br><b>当作成期中の平均基準価額は8, 437円です。</b>               |
| （投 信 会 社） | (37)                           | (0. 440) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価                       |
| （販 売 会 社） | (60)                           | (0. 715) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                         |
| （受 託 会 社） | (3)                            | (0. 033) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                                          |
| 売買委託手数料   | —                              | —        | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税   | —                              | —        | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| そ の 他 費 用 | 1                              | 0. 008   | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数                                         |
| （監 査 費 用） | (1)                            | (0. 008) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                                             |
| 合 計       | 101                            | 1. 196   |                                                                         |

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.86%です。



|                      |       |
|----------------------|-------|
| 総経費率（①＋②＋③）          | 3.86% |
| ①当ファンドの費用の比率         | 1.20% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率   | 1.69% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.98% |

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。  
（注4）各比率は、年率換算した値です。  
（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。  
（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、2018年7月5日の基準価額をもとに指数化したものです。

|                        | 2018年7月5日<br>期初 | 2019年7月5日<br>決算日 | 2020年7月6日<br>決算日 | 2021年7月5日<br>決算日 | 2022年7月5日<br>決算日 | 2023年7月5日<br>決算日 |
|------------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円)               | 9,424           | 9,287            | 8,707            | 9,289            | 8,311            | 8,377            |
| 分配金（税込み） (円)           | —               | 0                | 0                | 0                | 0                | 0                |
| 分配金再投資基準価額の<br>騰落率 (%) | —               | △1.5             | △6.2             | 6.7              | △10.5            | 0.8              |
| 純資産総額 (百万円)            | 117             | 101              | 90               | 81               | 71               | 71               |

（注1）比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

（注2）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

（2022. 7. 6 ～ 2023. 7. 5）

### ■米国ハイ・イールド社債市況

米国ハイ・イールド社債市況は上昇しました。

米国ハイ・イールド社債市況は、インフレ率がピークアウトするとの期待感などから、当作成期首から2022年8月中旬にかけて上昇しました。しかし10月半ばにかけては、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、さらに企業業績見通しの下方修正が相次いだことなども嫌気され、下落しました。2023年1月にかけては、米国のインフレ率が予想を下回ったことや、賃金上昇率の鈍化などを背景にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2023年2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しました。その後は、過度な信用不安が後退したことで値を戻しましたが、ＦＲＢの早期引き締め終了期待も剥落したことから、当作成期末にかけて上値の重い展開となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米国の短期ハイ・イールド社債（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）

米国の短期ハイ・イールド社債等（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

※短期ハイ・イールド社債およびバンクローン（貸付債権）をいいます。

## ポートフォリオについて

（2022.7.6～2023.7.5）

### ■当ファンド

当ファンドは、「US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米国の短期ハイ・イールド社債等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目        | 当 期                     |    |
|------------|-------------------------|----|
|            | 2022年7月6日<br>～2023年7月5日 |    |
| 当期分配金（税込み） | （円）                     | —  |
| 対基準価額比率    | （％）                     | —  |
| 当期の収益      | （円）                     | —  |
| 当期の収益以外    | （円）                     | —  |
| 翌期繰越分配対象額  | （円）                     | 44 |

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、米国の短期ハイ・イールド社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米国の短期ハイ・イールド社債等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



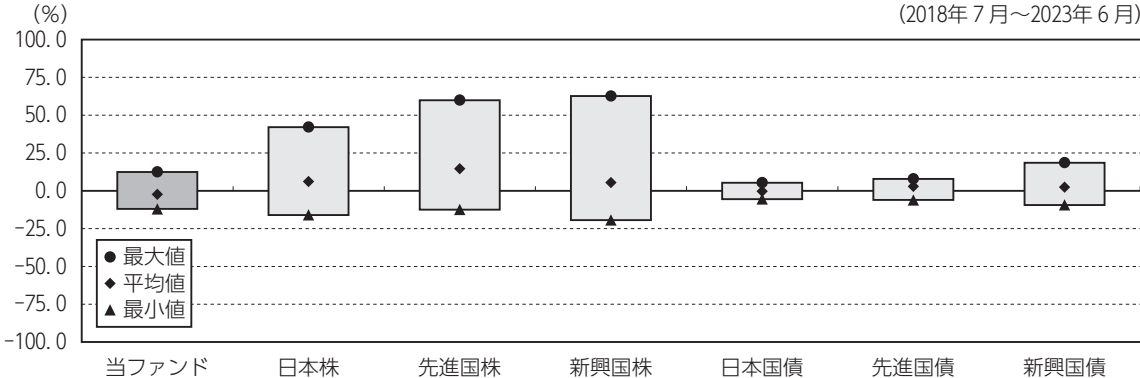
## 当ファンドの概要

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                        |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類      | 追加型投信／海外／債券                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                        |
| 信 託 期 間      | 2013年11月27日～2028年 7 月 5 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                        |
| 運 用 方 針      | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                        |
| 主 要 投 資 対 象  | 当ファンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／プリンシパル・ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）」（以下「ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）」といいます。）の受益証券（円建）<br>ロ、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券 |
|              | ダイワ・マネースtock・マザーファンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 円建ての債券                                                                                                                                                                                 |
| 当ファンドの運用方法   | <p>①主として、ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）の受益証券への投資を通じて、米国の短期ハイ・イールド社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。なお、米国のバンクローンにも投資します。</p> <p>②当ファンドはＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）への投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p> |                                                                                                                                                                                        |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                        |
| 分 配 方 針      | <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                        |



# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年7月～2023年6月)



|     | 当ファンド  | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債  | 先進国債  | 新興国債  |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 12.5   | 42.1   | 59.8   | 62.7   | 5.4   | 7.9   | 18.5  |
| 平均値 | △ 2.5  | 6.0    | 14.5   | 5.3    | △ 0.4 | 2.8   | 2.3   |
| 最小値 | △ 12.0 | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 9.4 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基いているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



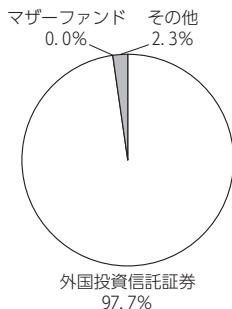
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

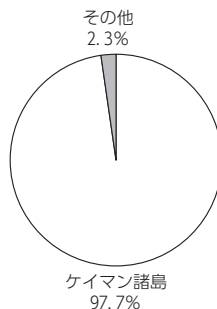
#### 組入ファンド等

|                                              | 比 率   |
|----------------------------------------------|-------|
| ＵＳ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／Ｎ１クラス） | 97.7% |
| ダイワ・マネースtock・マザーファンド                         | 0.0   |
| その他                                          | 2.3   |

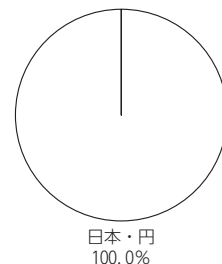
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注 1) 上記データは2023年 7 月 5 日現在のものです。

(注 2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注 3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位 3 ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

| 項 目        | 当 期 末         |
|------------|---------------|
|            | 2023年 7 月 5 日 |
| 純資産総額      | 71,512,630円   |
| 受益権総口数     | 85,367,597口   |
| 1 万口当り基準価額 | 8,377円        |

\* 当期中における追加設定元本額は7,052,429円、同解約元本額は7,677,952円です。

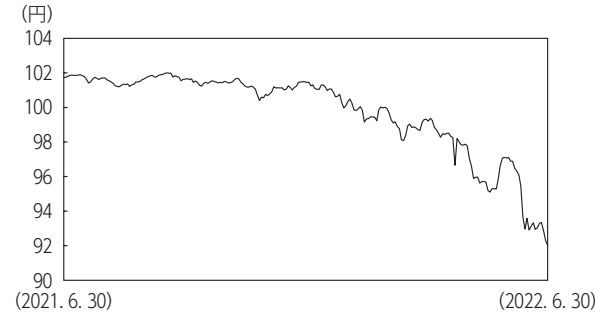
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）  
（作成対象期間 2021年7月1日～2022年6月30日）

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

■1口当り評価額の推移



■1口当りの費用の明細

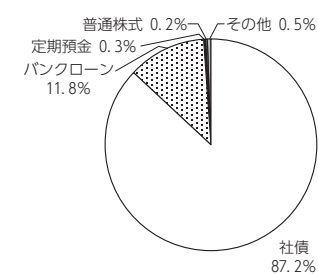
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■組入上位銘柄

| 銘柄名                                                                  | 通貨   | 比率   |
|----------------------------------------------------------------------|------|------|
| Ford Motor Credit Co. LLC 3.38% due 11/13/25                         | 米ドル  | 6.7% |
| Centene Corp. 4.25% due 12/15/27                                     | 米ドル  | 4.1  |
| First Quantum Minerals Ltd. 7.50% due 04/01/25                       | 米ドル  | 4.1  |
| OneMain Finance Corp. 5.63% due 03/15/23                             | 米ドル  | 4.0  |
| Canpack S. A. / Canpack US LLC 3.13% due 11/01/25                    | 米ドル  | 3.8  |
| Fresh Market, Inc. 9.75% due 05/01/23                                | 米ドル  | 2.9  |
| IRB Holding Corp. 4.24% due 12/15/27                                 | 米ドル  | 2.7  |
| Caesars Entertainment, Inc. 6.25% due 07/01/25                       | 米ドル  | 2.7  |
| Russell Investments US Institutional Holdco, Inc. 0.00% due 05/30/25 | 米ドル  | 2.7  |
| Aethon United BR LP / Aethon United Finance Corp. 8.25% due 02/15/26 | 米ドル  | 2.5  |
| 組入銘柄数                                                                | 64銘柄 |      |

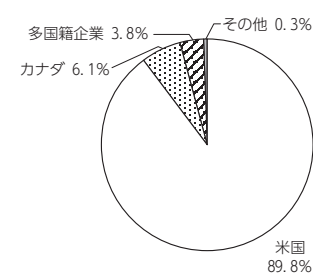
（注）比率は純資産に対する比率です。

■資産別配分



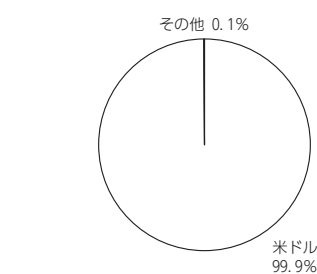
（注1）比率は純資産に対する比率です。  
（注2）「その他」は現金、その他の資産から負債を差し引いたものです。

■国別配分



（注）比率は投資総額に対する比率です。

■通貨別配分

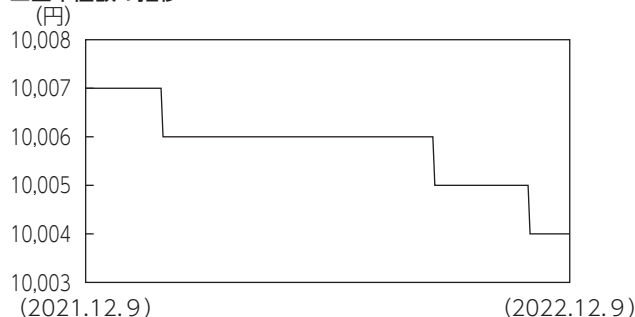


（注1）比率は投資総額に対する比率です。  
（注2）為替リスクを低減するため、為替ヘッジを行っています。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。  
\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。  
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

◆ダイワ・マネースtock・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

| 項       | 目 |    |
|---------|---|----|
| 売買委託手数料 |   | -円 |
| 有価証券取引税 |   | -  |
| その他費用   |   | -  |
| 合       | 計 | -  |

■組入資産

2022年12月9日現在、有価証券等の組み入れはありません。

（注1）基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

（注2）1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。